

会長指針

会長（理事）高井好信
（司法書士）

世界を席卷するコロナの影響で、今年度も困難な運営を求められる中、会長という重責を担うよう付託されました。大いに戸惑いながらも、全力を尽くして、この名誉ある職の名を傷つけることなく、我がクラブの長きにわたる歴史の1ページを、会員諸兄のご指導とご協力を得てクラブ発展のため勤め上げていきたいと思えます。

2021-22年度RI会長であるシェカール・メータ氏はテーマとして「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため」と掲げられ、奉仕先が奉仕されたことによって人生が豊かになるだけでなく、奉仕する側が、世界から授かった恩恵への恩返しの機会を与えられていることを再確認し、行動しようと呼びかけられました。それには会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げ、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらそうと目標を掲げられました。

また馬場益弘地区ガバナーはスローガンを「活力と輝き」-ロータリーの基本を大切に-とされました。時代とともに変わりつつあるロータリーも創立以来の多くの良き伝統を尊重し、継承していかなければならず、コロナに負けず、仕事に活力を蘇らせ、周りの人たちに輝く笑顔を取り戻すことに専念する時であると宣言されました。

コロナワクチンの投与がようやく始まりましたが、国民全てにいきわたるにはまだまだ時間がかかるようで、2021年から2022年度もどのような時代を迎えるのか不透明で、気持ちが減入って下を向くようになりがちで、苛立ちやあせり、思いもしなかった心の変化に自分でも驚きを感じる中、こんな時であるからこそ、指導力・決断力・行動力・包容力をもって地域のリーダーとしての資質をお持ちの全会員の力を結集し、京都東ロータリークラブを中心として笑顔が広がってゆく年度といたく、今年のテーマとして「愉」、方針は「取り戻そう！笑顔を」とします。喜び、楽しみ、嬉しさ、心地よさをもたらす奉仕によって、奉仕される側奉仕する側ともに人生を豊かに感じられる活動を進められればと思えます。

運営方針

1. 京都東ロータリークラブ会員であることの喜びと誇りを感じてもらえる事業の計画立案と、実現に向けて全会員が積極的に参加できるように企画する。
1. ロータリー活動の参加者基盤を強固なものにするために、会員の増強は不可欠であり、会員増強に向けての各会員の積極的な協力をお願いする。
1. コロナ禍の中でも可能な限り例会を含め、各種会合や懇親会などを開催し、会員間の交流が途切れないよう留意する。
1. クラブホームページのより有効な活用を通じて、会員間の情報の共有を進め、クラブ活動の有力な武器となるよう検討を進める。

事業計画

1. 山岸・森田両会長年度はクラブ創立以来遭遇したこともなかったコロナ禍という行動制約の影響をまともに受けられ、企画された事業も道半ばで中止せざるを得ない事態になり、大変なご苦勞と悔しい思いをされたであろうこと、また、会員の皆さんも同じ思いをされたのではなかろうかと思えます。両会長が企画されながら実施できなかった事業を継承し、発展できればと考え、担当理事さんや、委員長さんの力を発揮していただき、事業が笑顔を取り戻すきっかけとなるよう企画実行できればと考えます。
1. 会員増強のために、各会員がクラブにふさわしい人材を積極的に紹介できるよう、会員増強委員会を中心に増強のためのチーム作りやシステムの構築をお願いしたい。
1. ロータリークラブの重要な活動の一つである会員間の親睦活動が、コロナの影響を受け充分に行われておらず、新旧会員の交流や同好会活動も制約を受けている状況ですが、可能な限りの親睦活動を計画していきたい。
1. クラブホームページの容量が、飛躍的にアップしたと聞いている。クラブ運営の効率化、対外広報活動など我がクラブの今後の運営に資するよう研究を進める。
1. 65周年事業のミャンマーでの高架水槽寄贈事業については、コロナや政情問題を考慮し、可能な限りで対応してゆく。

以上のほか、この難関を乗り越え、実りあるロータリーライフを満喫していただけるよう、会員各位の絶大なるご支援とご協力をお願いする次第です。